

# 1 畜産業における労働災害発生状況

○ 畜産業における労働災害(休業4日以上)は**10年前**に比べて約**1.5倍**に増加しています。

○ 厚生労働省は労働災害防止計画(計画期間5年)を策定し、帯広労働基準監督署ではこれに基づいて労働災害防止対策の推進に取り組んできました。

しかし、直近の計画期間(※1)はその前の計画期間(※2)に比べて約**1.3倍**に増加しており、取組をより推進する必要があります。

※1 第13次労働災害防止計画期間(2018~2022年)

※2 第12次労働災害防止計画期間(2013~2017年)

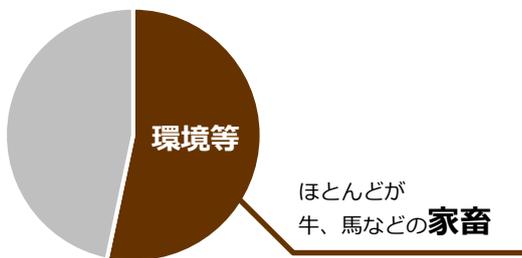


○ 直近の計画期間の労働災害発生状況のポイントは次の2点です。

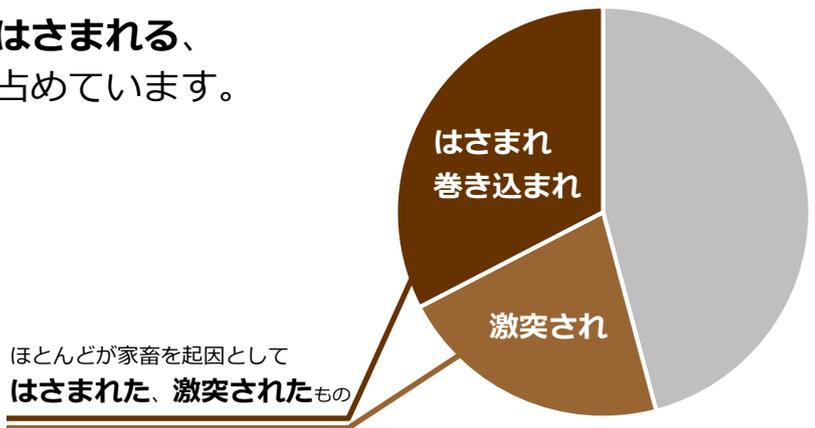
## ポイント1 家畜を起因とした労働災害が多発!

○ 牛、馬などの家畜を起因として、はさまれる、激突されるなどが全体の約半数を占めています。

労働災害の起因物



労働災害の型

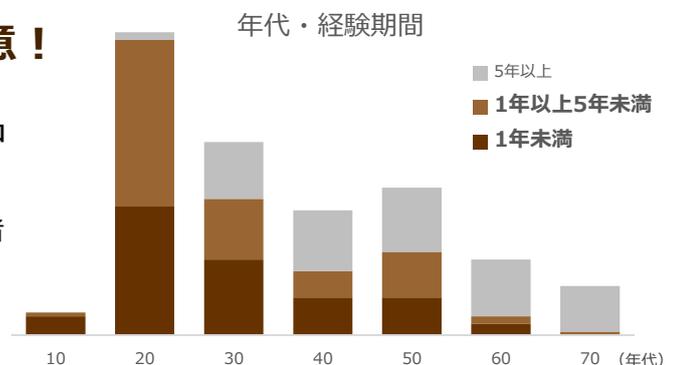


## ポイント2 経験の浅い労働者は要注意!

○ ほとんどの年代で経験の浅い労働者(※)に集中して労働災害が発生しています。

※ 経験期間5年未満の労働者

○ 全体では経験の浅い労働者が約**6割**を占めています。



## 上記を踏まえた労働災害防止対策のポイント

### 家畜を起因とした労働災害に特に注意

- ▶ 家畜の取扱いのポイントを理解 (3ページ)
- ▶ 災害事例を参考に対策を検討 (7ページ)

### 経験の浅い労働者への安全衛生教育が重要

- ▶ 関係法令のポイントを理解 (17ページ)
- ▶ 特に雇入れ時等の教育徹底 (20ページ)